

LAH.S401

文系エッセンス1 (人間力を育む)

第5回：ファシリテーションの基礎・プレゼン準備

2022.7.13(10:45-12:25)

リベラルアーツ研究教育院 教授

中野民夫

tamio.nakano@me.com

授業計画

*日にちが1日ずれていたのを訂正しました。

- 1) 6.15 : オリエン、導入ワーク、人間力、SDGs
- 2) 6.22 : ワールドカフェ風対話:コロナ時代を考える
- 3) 6.29 : 創造的な対話とマインドフルネス
- 4) 7. 6 : 相互インタビューと他己紹介→検討中
- 5) 7.13 : **ファシリテーションの基礎、プレゼン準備**
- 6) 7.20 : **プレゼン&ファシリ実習**
- 7) 7.27:総復習ワールドカフェ。最終レポートを元に

AIテキストマイニング 10行要約

- インタビューをする際はリアクションが重要であることを学びました。
- 話題を広げて話を引き出すことが難しかったと感じました。
- 自分の話しをどうわかりやすく伝えればいいのか考えることができました。
- 人にインタビューするという経験が今までなかったので良い機会であった。
- インタビューをするにあたって、質問ごとに会話が区切れないよう意識した。
- インタビュー記事を短い時間でまとめるのは、非常に難しかったです。
- インタビューすることで相手のことがわかり共感することが多かった。
- インタビューを聞く側が話を引き出してくれると話しやすいなと感じた。
- インタビューすることの楽しさみたいなものを感じることができてよかった。
- 今後は話を聞くときも聞く側の姿勢を意識していきたい。

前回のフィードバックシートから

(抜粋by中野)

- インタビューするのもされるのも、楽しさを感じました。
- 他人の話聞きだすことは想定以上に**面白い**ことがわかった。人から**関心を持たれることのありがたさ**を感じた。
- インタビューという珍しい経験を通してコミュニケーションでの技法の実践を行うことができた。インタビューをされる側は**聞き手に関心があるかないか簡単にわかってしまう**と思うから、しっかり相手の話を聞き、自分の視点から面白いと思ったことに切り込みを入れると盛り上がって良いものになるということを実感できた。
- インタビューはする側とされる側で**呼吸を合わせる**のが大切だと感じた。
- インタビューする人とされる人が、**相互作用**を及ぼし合っていることを、(中略)感じた。表情や声のトーン、テンポ、間など、その相互作用がとても如実に表れていた。
- インタビュアーのトーク能力が非常に大事であると感じた。最初はある程度乗り気でないように見えたインタビューされる人も、インタビュアーが明るく相手の話を拾って広げていくことで、**だんだんと積極的に自分の考えを話すようになっていた**。ジェスチャーも含め、相手の話を**聞く能力**というのは非常に重要なコミュニケーション能力であると感じた。

FBシートから（続き）

- 「ききかた」が上手になるとこんなに話しやすいのか、と思った。
- **色んな人が色んな思いをもって東工大にいる**ことをしって自分も頑張らなければいけないと感化された。
- **ひとの人生**を掘り起こしていくのはたのしいですね。
- オンライン上の会話は対面と比べて**非言語情報が伝わりづらい**と感じた。
- 最後の質問が終わった後、「これで終わりです。」という機械的な言葉ではなく、「**研究頑張ってください。ありがとうございました。**」という一言、これが言えるかどうかで**愛があるインタビュアー**であるかが決まる。
- 相手の話を聞きながら**メモ**をし、インタビューの内容を深めるということが思ったよりも難しかったです。**話す・聞く・メモを取る・考える**という行為を同時進行で行うことができる能力が必要。また、相手のことをきちんと理解したいという気持ちを、相槌やコメントでうまく表現することが、よいよインタビューにつながる。
- 与えられた問がありましたでしたが、そのまま聞くのではなく、**相手の答えを受けて、上手く繋げながら、自然に質問**しているのがすごいと思った。
- 自分が相手の研究について質問した際、**専門用語を知ってて当たり前**のように説明していただいた結果、相手のお話をあまり理解できなかった。
- 自分の頭の中に**無意識に存在する固定概念を捨てて、想定**の保留を通じて**相手の話を真摯に聞く**という作業の重要性を感じることができた。

今日の位置付け

- 1) 人間力、社会人基礎力、楽しい修行、SDGs
- 2) ワールドカフェ:コロナ時代を考える
- 3) 創造的な対話、想定外の保留とマインドフルネス
- 4) リレーインタビューと他己紹介
- 5) **ファシリテーションの基礎、伝わるプレゼン**
- 6) **プレゼン&ファシリ実習**
「自分の専門、研究テーマの概要、その魅力と意義」を
専門外の人にわかりやすく伝える。
+ 温かいフィードバックの場をファシリテートする
- 7) 総復習カフェ。最終レポートを元に

第5回のアジェンダ

10:45-12:25

- 1045 : オリエン、前回ふりかえり
- 1055 : 小グループでの対話
- 1100 : ファシリテーションの基礎
- 1130 : プレゼンのスタイル
- 1145 : プレゼン作り個人作業
- 1200 : ラフ案発表 + FB
- 1220 : 全体で、次回、FBシート
- 1225 : 終了

チェックイン

- 「どんな人がどんな思いでここにいるの？」
 - ブレイクアウトで4人組で交流。
 - ルームNo.覚えておいて。メモを！
- 話す順、今日は名前（ファーストネーム）の50音順
 - 最初の人が終わったら、あとはその人が指名するなり自由に。
- お題：まず自己紹介で1週。
 - ①名前・所属、②好きなこと、
- 2週目
 - 「前回インタビューしたりされたりで感じたこと」

体験し、ふりかえりから学ぶ
ファシリテーションの
基礎スキル

対面で培ったファシリテーションを、2020年から
オンラインで応用。共通するものが多いが一部違う。

対面のみスキルを横線で消して、ズームの場合を加筆。

参考：『学び合う場の作り方』（中野民夫著、岩波書店、第2章

<用語確認>

ワークショップ（WS）とは

- “workshop” :
 - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」（『ワークショップ』中野2001）
 - 「参加」「体験」「相互作用」が鍵

<用語確認>

ファシリテーション（F）とは

- “facilitate”
 - 「促進する」
 - →物事を、効率よく進める。相互作用や創造性を促す。
 - 「<事を>容易にする」
 - →緊張や紛争を解く。ステップを刻んで、導く。
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」 （中野2012）
- 今、対話・協働・共創を育む、新たな支援型リーダーシップの一つ「ファシリテーター型リーダーシップ」が注目！
 - →「リーダーシップ道場」4Q中野対面で。リーダーシップ教育院TOTAL

看護管理

Japanese
Journal of
Nursing
& Management

2014
1
January
医学書院

特集 「対話」が現場を変える!

ファシリテーター型 リーダーシップ



特別記事

大学が主催する
新人看護職員の「社会化」支援 | 松浦和代

小児緩和ケアチームにおける
多職種協働のあり方 | 多田麗花

看護の現場に必要なとされる
解決志向アプローチ | 阿久津結子

巻頭

3つの事業・支援 | 手塚淡仁会病院

寄稿

看護事故の舞台裏
長野眞久

医療分野でも「ファシリテーター型リーダーシップ」は注目され、2014新春特集号は売り切れに。看護ファシリテーターの仲間と共著にもなった。

看護のための ファシリテーション

中野良夫 浦山結里 森 雅浩 編

学び合い
育ち合う
組織のつくり方

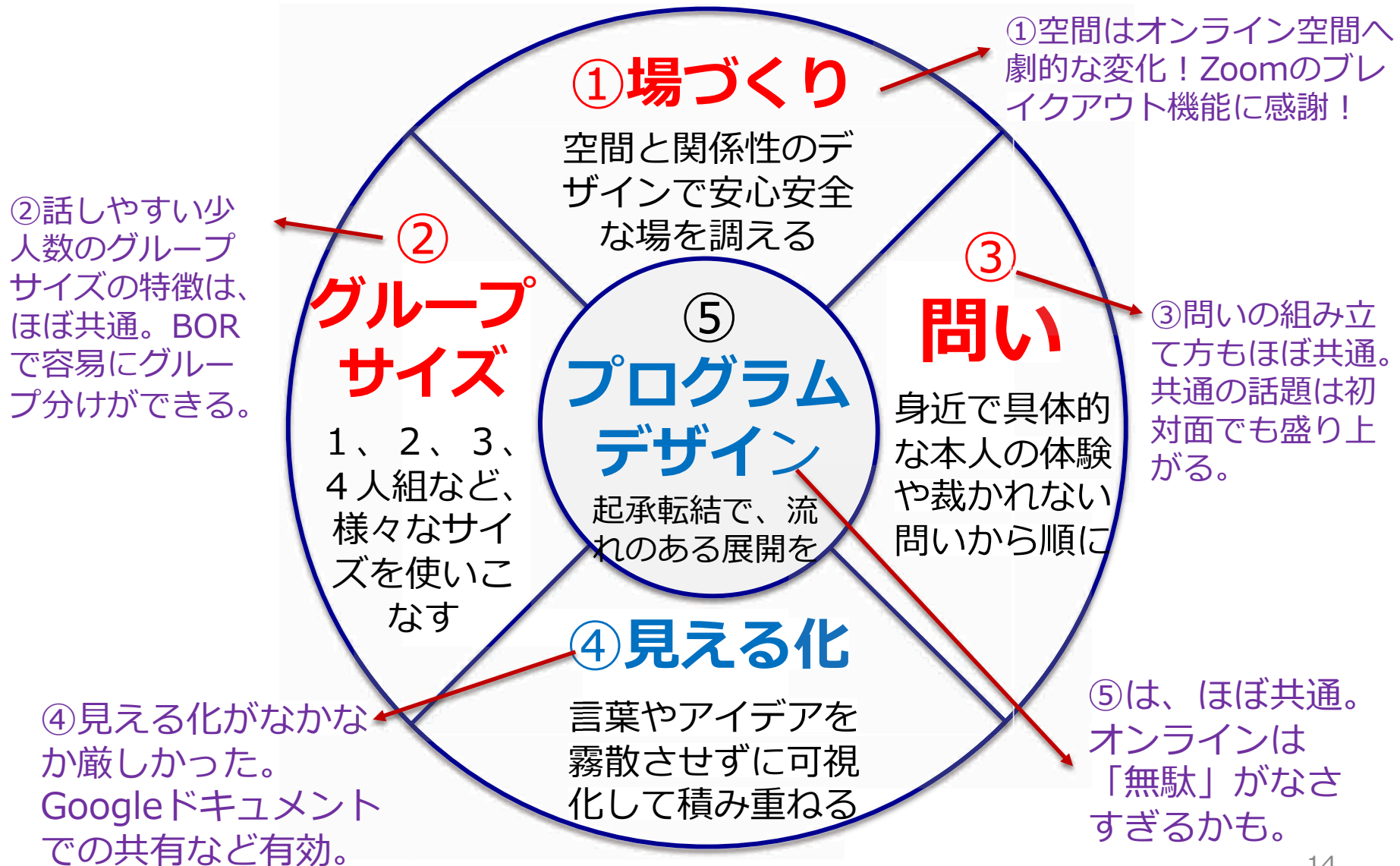
対話と支援を大切にする
「ファシリテーター型リーダー」
必読の1冊

あなたも、
チームも、
元気になろう!

医学書院

学び合う場をつくる (オンライン) ファシリテーション5つの基礎スキル

『学びあう場のつくり方』
(岩波書店) より



1の技：「場」づくり

空間のデザイン＋関係性のデザイン

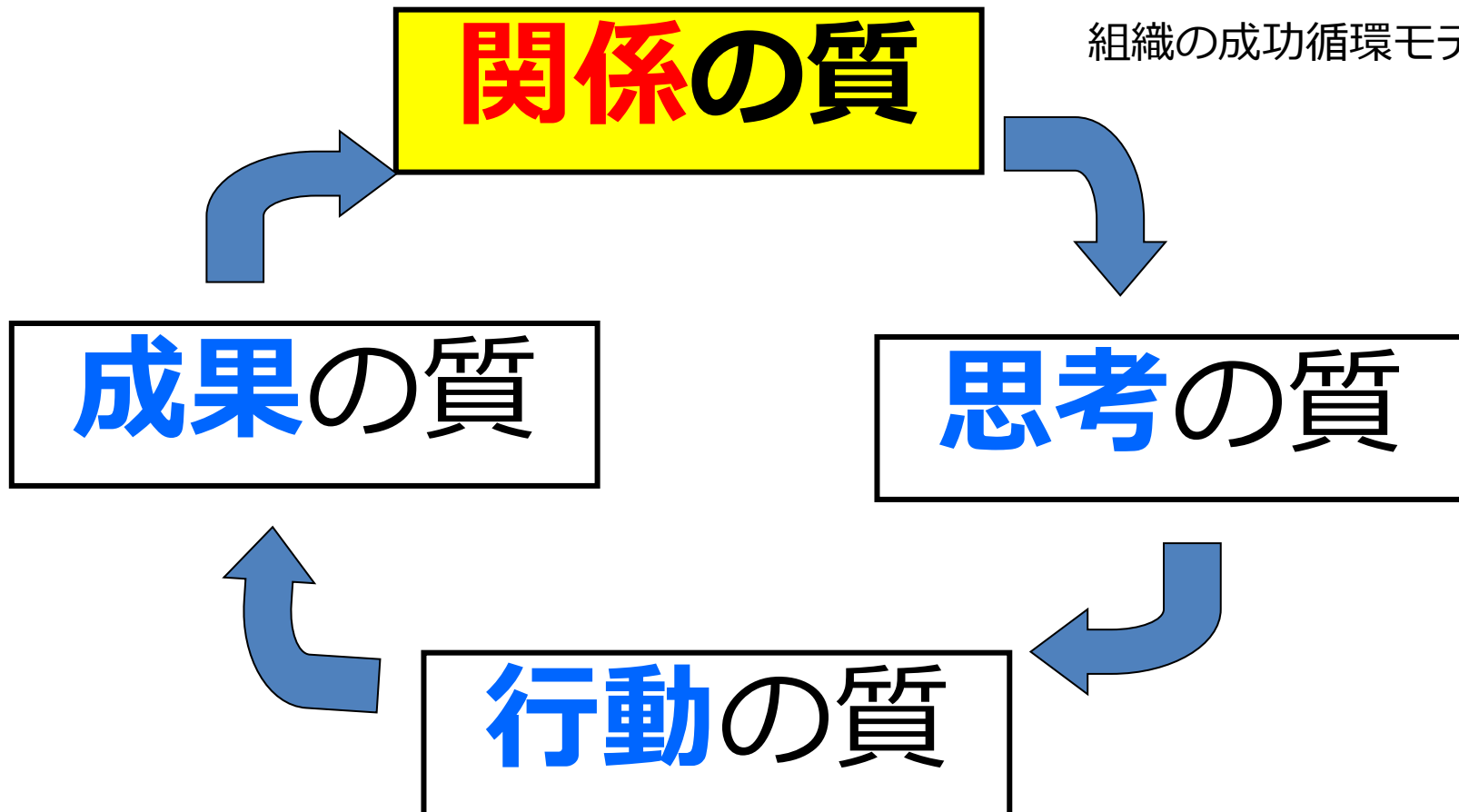
- 「場」 = 空間（物理的） + 関係性（心理的）
- 「空間」の物理的デザイン
 - 場所の選択、机やイスの並べ方
 - ズームで顔出し。「ギャラリービュー」で皆同じ大きさで対面。
 - 特にブレイクアウト機能で少人数の小部屋に分ける。
 - リアルだと周りのグループの雰囲気伝わってくるが、zoomだと隔絶。
- 「関係性」の心理的デザイン
 - 人と人の関係が雰囲気をつくる。初めは当然、緊張してる。
 - オリエンテーション＋導入ワークで、受け入れる準備を
- さらに「時間」の扱い方も影響大！
 - ゆったり、だけどしっかりタイムキープ

この授業での工夫

- 空間のデザイン
 - オンライン、ライブで参加型。
 - 事前のBGM、直前のズームの歌でリラックス。
 - zoomのブレイクアウト機能を活用し、4人組やペアに分ける。
- 関係のデザイン
 - ズームのBOR「自動」で、初対面・偶然の出会いを
 - 本論の前にチェックインで自己紹介・顔合わせを必ず入れる
 - 話す順番、お題、時間を明示し、スムーズな導入を促す
 - 適度な席替えでシャッフルし新たな出会いを

「成果」を急ぐより、急がば回れ
「関係の質」を上げる

ダニエル・キム(MIT)
組織の成功循環モデル



2の技：グループサイズ 小グループの活用

- 一度に皆では話せない
 - 他者がどう出るか気にし発言を控える文化。
 - 一人ずつ順に当てたら長々話す。時間足りない！
- さっとグループのサイズ（人数）を分ける
 - ペア（2人）で、3人で、4人で、5人で
 - グループ数の「番号！」をかけ「偶然の出会い」を演出
- 様々なサイズの特長を知り自由自在に繰り出す
 - まず2人ペア→4人→8人→全体等。時には一人も。
 - 時々、全体で、グループ発表や個人シェア

授業での工夫

- 全体約160名！皆では話せない。
- 4人組を基本に。
 - Zoomの「自動」でシャフル。（「Zoomの神様」）
 - 時にはペア（2人組）でインタビュー。
 - 2人→4人→全体。
- また1人で考えたり個人作業の時間も
- 様々なサイズを時と場合に応じて活用

3の技：問い

共通で触発的、身近・具体・裁かれない問いから

- 「問い」（お題）がいのち
- 共通で触発的な問いを
 - 皆に共通の関心事は何か？
- 身近で具体的、個人的な体験から
 - 頭や建前の「べき論」でなく、具体・実感から
 - 「自分の体験」から：「そもそものきっかけは」「個人的体験は」
- （頭ごなしに）批判されるのはイヤ！
 - 正誤・善悪など裁かれる怖れのない問いから始める
 - 次第に、本質的、抽象的にテーマに肉迫していく

1) どの誰

(所属、名前、出身地、大学、サークルなど)

2) 好きな事・ 最近よくやってる こと

授業での工夫
この授業初回の導入ワーク
「チェックイン」

3) 専門や研究テーマ、
関心領域は？

(専門外の人にわかりやすく)

4) 今の時点での
「志」や夢、やりたい
ことは？

ワールドカフェのお題

- コロナの-/+。
 - 辛かったこと・失ったもの。
また意外に良かったことは？
- SDGsにどう向き合う？
 - 17ゴールで関心の深いもの／遠いもの／研究に関係するのは？
- どんな未来を創りたい？
 - 世界中でSDGsやコロナ、戦争。まもなく参院選。この世界、一体どうなる？ どうする？ どうしたい？

インタビューの問い（基本案）

チャットに貼ります。

1. 挨拶。終了時刻の確認。名前と所属をまず確認
2. どんな子ども時代や中高生活を過ごしていましたか？
3. 今のコースを志望したのはどんなきっかけや思いから？
4. コロナの時代、どんな気持ちでどう過ごしてましたか
5. そんな中、研究はうまく進んでますか？研究テーマと進捗についてわかりやすく教えてください。
6. 将来の進路や夢、志はどんなこと？（就職？博士？）
SDGs（持続可能な開発目標）に何か貢献できそう？
7. その他、9-10分フルに使って自由に深めてください。

<まとめ> ファシリテーターの基本姿勢

- 一人ひとりが大事。一人ひとりに歴史あり。
 - 「違い」を厄介なものとしてでなく、豊かさとして活かす。
- 安心・安全な場づくりを
 - 教えるより→引き出す→あふれ出す「場づくり」を
 - 「やる気のない人はいない」という信念
 - 最初は緊張して当然。ほぐして関係の質を上げよう。
- 「グループ分け、問いを投げたら、あとは待つ。相互作用の花が咲くから」
 - 教わるより、体験を通して学び合う方が身につく。
- 準備を尽くして、天命を待つ。臨機応変に。
 - 綿密なプログラムデザインと、クールなタイムキープ

学び合う場の つくり方

本当の学びへの
ファシリテーション



中野民夫
Tamio Nakano

ワークショップのパイオニアが語る

「本当の学び」

アクティブラーニングを真に実り多いものにするには？

教育・企業・
行政・医療・
まちづくり...

岩波書店

定価（本体2100円＋税）

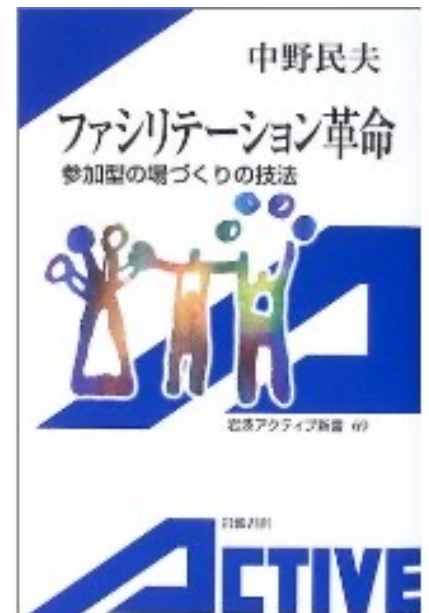
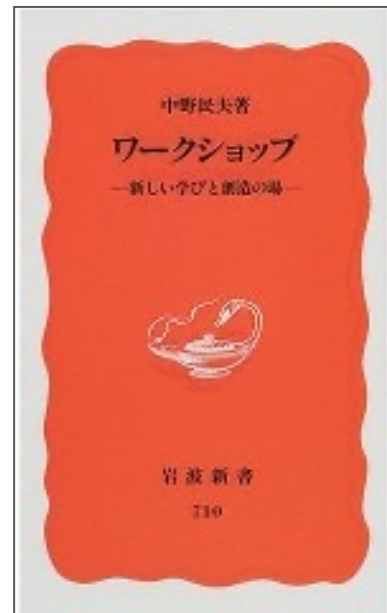
ファシリテーション（＝新しい支援型の
リーダーシップ）に関心ある方はぜひ！

『学び合う場のつくり方

--本当の学びへのファシリテーション』

How to create a collaborative learning community

中野民夫 岩波書店2017



後半へ

伝わる プレゼンテーションへ

「自分の研究テーマの概要、その魅力と意義」
を専門外の人にわかりやすく伝える試み
「人間力」として大切！

「伝える」と「伝わる」は違う

- 自分では「伝えた」つもり。でも、
 - 実際に「伝わる」こととは、大きなギャップが。
- リレーインタビューでのずれ
 - 自分が話したつもりのことと、実際に相手に伝わり、書き出してくれたことのギャップはありませんでしたか？
- 教員も講義で「伝えた」つもり。でも、
 - 皆さんが、受け取り、理解し、覚えていることは？？？
 - ましてや実際に腑に落ち活用できることはどれくらい？
- 「伝わるプレゼンテーション」には、伝える側の視点でなく、相手（受け取り手）の視点が必要
 - 専門用語に注意！自分の常識、人の非常識。

すぐれたプレゼン 3 要素

参照：パッくんが教える、相手を「説得」するための技術
https://www.lifehacker.jp/2017/06/170622_book_to_read.html

- アリストテレス：説得力 = エトス × パトス × ロゴス
- **エトス**（信頼感・信頼関係）
 - 語り手の人柄を信頼させる。人の人格的なものに働きかける。
- **パトス**（情熱・熱意・共感）
 - 感情に訴える。心を動かす。詐欺や恐怖を煽る扇動に注意！
- **ロゴス**（論理性）
 - 理由や原因を説明。頭脳に働きかける。**説得力は意外に低い。**

プレゼンはKISSで

- K e e p I t S h o r t, and S i m p l e.
- 「短く、シンプルに！」
- (与えられた) 限られた時間に収める。
 - たくさん詰め込んでも、溢れてしまう。
 - 聞く側は多くのプレゼンを聞いている。
- 文字だけでなく図やイメージも活用。
 - 文字がぎっしりより、一枚のポンチ絵、図表の力

構成法①：起承転結

- 漢詩の構成法の1つ。律詩では、首聯で説き起こし、頷聯でそれを受けて展開し、頸聯で変化を起こし、尾聯で全体を締めくくる。
- 転じて、物事や文章の順序、組立。 (広辞苑)
- 「**起承転結**」基本型：
 - 1) まず課題やテーマを提起し関心を集める。
 - 2) それを受けて、内容を詳しく展開する。
 - 3) ガラッと他からの視点を加え、説得力up。
 - 4) 最後に全体をまとめて力強く締めくくる。

構成法②PREP法

リーダーシップ道場資料より

- **Point**
 - 最初に結論を述べる。「～です」
- **Reason**
 - 次にその理由を述べる。「なぜならば」
- **Example**
 - 具体例、実例、事例を挙げ、相手を説得へ導く
「たとえば」「具体的には」
- **Point**
 - 結論。もう一度結論を繰り返し、締めくくる。
「ですから、～なのです」

構成法③：SDS法

リーダーシップ道場資料より

- **Summary**：要約
 - 最初にこれから話す内容の要約を伝える。
「〇〇は××です。要点は3点あります」
- **Detail**：詳細
 - 詳しく話す。
「1点目は～、2点目は～、3点目は～」
- **Summary**：まとめ
 - もう一度、何を話したかをまとめる。
「以上、〇〇は××でした」

構成法④研究発表型

- 修士論文の構想発表会などでは、論文の序論で全体の概要を説明する要素に沿って発表。それに準じて。
- 1) 研究の**背景**
 - どうしてこのテーマに至ったか、取り巻く状況。
- 2) 研究の**目的**
 - この研究を通して何を明らかにしたいのか。
- 3) 研究の**方法**（と計画）
 - どのような（科学的な）方法で取り組んでいくのか
- 4) その**独自性**と**意義**
 - これまでの研究にはないユニークな点と、社会的な意義
- 5) 今後の課題

個人作業でつくってみよう！ まで！

- 「自分の研究テーマの概要、その魅力と意義」を専門外の人に伝えるために
- A4紙4–5枚（表紙入れたら5枚、本編は基本4枚で）
- パワーポイント等で（来週は5人組で発表し合う）
 - 来週はZoomのブレイクアウトで画面共有してプレゼン
- 今日はその概要（アウトライン）を12分で準備。
 - 先の構成法などを参考に試行錯誤し始め。来週に向けて。
 - 安心して失敗しよう！失敗は成功の母。伸び伸びどうぞ！
- このあと5人組でラフ案発表・フィードバック大会

ラフ案発表とフィードバック

- 先のグループで（ファシリテーター継続してお願いします）
 - 発表の順番を確認し、時間管理も。自分は最後に発表。
- **今日は各3分の枠で発表＋フィードバック。（計16分預けます）**
 - 基本は画面共有し2分で発表、**1分強フィードバック（皆必ず一言）**。
 - 今日は練習。思いっきりやって、良い失敗を！
 - 来週は**5分**発表、FB込みで10-12分。
- フィードバックは本人の意図・思いに沿って率直・建設的に。
 - まずは「伝わったか」、何が伝わり何がわかりにくかったか。
 - 「ダメ出し」・添削ではない。「ピアレビュー」の精神。
 - 本人が伝えたい意図をくみ取り、良いところは褒め、わからなかった点、改善できる点は、どうしたらもっと伝わるか。率直かつ具体的に。
 - 本人も言い訳・弁護や反論は控えて、まずは受け止めよう。

コメント

- 既存の物の活用もいいけど、対象が違うよ。
 - タイトルからわかりやすくしてね。
 - ページの構成と展開を明確に
 - その魅力と社会的意義も必ず触れてね。
-
- 来週は、5分のプレゼン+あれこれやりとり
で10-12分枠

来週は5人組で交代してファシリテート実習 ファシリテーターの基本

- **発表を終えた人が次のファシリテーターに。**
 - 限られた貴重な時間をテキパキと有効に進行。基礎スキル参照。
 - 皆が安心して率直に話せるよう「話やすい雰囲気づくり」を
- 初めに、口火を切り、場を開く。話者、時間など確認。
 - 「では（発表者）さん、よろしくお願いします」とはっきり。
- タイムキープ。例えば、「3分です」「時間です」など必要に応じてドライに伝える。
 - 自分も発言してかまわない。
- フィードバックの時は、皆が発言できるよう留意し、促す。
- 時間ですみやかにに終了し、次に回す／渡す。

最終レポート課題予告A4,1枚 (1200-1600字程度)

7/20後に書く。7/27に持ち寄りふりかえりワールドカフェでシェア。

提出はT2SCHOLA7月28日(木)中。

- 授業全体をふりかえり、1-3をA4、一枚に。
- 1. 「人間力」という観点から、自分にとって印象的だった学びは何か？具体的に幾つか挙げ、何がどう学びになっているのか、ふりかえって分析し、記述せよ。
- 2. 自身の「研究テーマの概要、その魅力と意義」について、2-400字程度で、わかりやすく説明を。
- 3. 今後、withコロナ時代を前向きに生きるために、さらに育み続けたいあなたらしい「人間力」とはなんだろう？どうやって身につける？

フィードバックシート

- 次回第6回はプレゼン&ファシリ実習
- 最後にフィードバックシート：今日の学び、発見、気づき、提案、を書いてください。
 - Google Form：学籍番号・氏名・今日の学び
 -
 - チャットに送ります。
 - 注意！万一授業を受けていないのにこれだけ書くのは不正行為。クォーター全ての科目の単位が取り消されます。Zoomは接続履歴が残っています。
 - 完全な公開は控えます。
 - 後で学籍番号と氏名を外して、学んだんことのコメントだけ
・ ピーして共有します。

悲しみはいつか宝に

(2016年3月作曲・作詞:中野民夫)

1.
悲しいことつらいこと、
いつかきみの宝もの、
無駄なことなどなんにもなかったと、
感謝して振り返れる時が来る。

2.
若い時の苦労は、
買ってでもせよと言われたって、
苦しい試練の真っ只中じゃ、
ふざけんな、うるせ～って思うよね。

3.
だけど人生後半になり、
自分の転機をふりかえてみると、
試練失敗病気や涙、
みんなきらめく宝もの。

サビ

だから今、気になることを
目を見開いて、受けて立て一
先など見えない、カオスこそ、
いつかあなたの宝もの